

研究論文について

(1) 研究論文の審査

本論文集の研究論文は、2段階（第一次審査、第二次審査）で審査を行った結果採用となったものである。審査は、1論文につき査読員2名により、審査スケジュールに則り行われた。なお、論文の条件は以下の通りとした。

- ①住宅に関して、新しい課題として有効な知見を得たもの（設計・計画事例研究を含む）で、原則として未発表のもの
- ②住宅に関して、大会学術講演会等で口頭発表したものを発展させたものや、何編かをまとめて一連の研究としたもので、まとまりのあるもの
- ③地域の住環境の向上、住宅系まちづくりに貢献した設計・計画・実践事例などに関する研究報告

(2) 審査のスケジュール

◇応募登録

「建築雑誌4月号」誌上「第3回住宅系研究論文報告会」の開催を告知し、研究論文を募集。

2008年5月16日 締め切り。応募総数56題。

◇研究論文投稿

2008年7月4日 投稿締め切り。応募総数37編。

◇第一次審査

2008年7月8日～7月28日 査読者による審査

2008年8月1日 第一次判定会議開催。採用3編、再提出31編、不採用3編を判定。

◇再提出投稿

2008年8月29日 再提出締め切り。再提出30編。未提出1編。

◇第二次審査

2008年9月4日～9月16日 査読者による再審査

2008年9月26日 最終判定会議開催。採用30編を判定。第一次審査と合わせて最終的な判定結果は、採用33編、不採用4編。

(3) 審査の概要

◇第一次審査

投稿論文（37編）の査読者による判定結果は、「採用+採用」3編、「採用+再提出」11編、「再提出+再提出」13編、「採用+不採用」1編、「再提出+不採用」9編、「不採用+不採用」0編であった。このうち、「採用+不採用」論文1編、「再提出+不採用」論文9編の計10編について採否の審議を行い、「採用+不採用」論文1編は再提出とし、9編の「再提出+不採用」論文は、6編を再提出、3編を不採用とした。以上の結果、採用3編、再提出31編、不採用3編とした。

◇第二次審査

再提出論文（30編）については、第一次審査で「不採用」が1つあり再審査になっていた1編と、第二次審査で「不採用」が1つあった7編の計8編について慎重に審議を行った結果、8編すべてを採用と判定した。

(4) 報告会の運営

①幹事（五十音順）

伊藤史子（首都大学東京）	碓田智子（大阪教育大）
大沼正寛（東北文化学園大）	神吉紀世子（京都大）
黒野弘靖（新潟大）	齋藤広子（明海大）
佐々木誠（プレイスメイキング研究所）	志村秀明（芝浦工業大）
鈴木雅之（千葉大）	高田光雄（京都大）
高見沢実（横浜国立大）	野中勝利（筑波大）
吉田友彦（立命館大）	

②査読者（五十音順）

浅沼由紀（文化女子大）	市古太郎（首都大学東京）	伊藤史子（前掲）
碓田智子（前掲）	大月敏雄（東京大）	岡絵里子（関西大）
門脇耕三（首都大学東京）	木内望（国土技術政策総合研究所）	窪田亜矢（東京大）
黒野弘靖（新潟大）	小池孝子（日本女子大）	小杉学（愛知産業大）
後藤隆太郎（佐賀大）	小林秀樹（千葉大）	齋藤雪彦（千葉大）
佐々木誠（前掲）	定行まり子（日本女子大）	篠崎正彦（東洋大）
柴田建（九州大学）	鈴木浩（福島大）	鈴木雅之（前掲）
高田光雄（前掲）	田口太郎（新潟工科大）	野澤千絵（東洋大）
野澤康（工学院大）	長谷川洋（国土技術政策総合研究所）	初見学（東京理科大）
伴丈正志（長崎総合科学大）	檜谷美恵子（京都府立大）	藤岡泰寛（横浜国大）
前田真子（広島工業大）	真境名達哉（室蘭工大）	真野洋介（東京工業大）
森永良丙（千葉大）	森本信明（近畿大学）	安武敦子（駒沢女子大）
山崎義人（兵庫県立大）	吉田友彦（前掲）	